



どんなときどう使う
日本語表現文型500

日语句型 地道表达 500例



友松悦子 宫本淳 和栗雅子 著

中・上級

- 日本語能力試験N1～N3の重要表現を網羅
- 各課の「知っていますか」「使えますか」で、今の知識をまず確認
- 機能別・レベル別に表現文型を整理
- 課末の「練習問題」で知識を運用に結びつける！



大连理工大学出版社

DALIAN UNIVERSITY OF TECHNOLOGY PRESS

「改訂版 どんなときどう使う日本語表現文型 500」

友松 悅子、宮本淳、和栗 雅子 著

“KAITEIBAN DONNA TOKI DOTSUKAU NIHONGO HYOGEN BUNKEI 500”

by Etsuko Tomomatsu, Jun Miyamoto, Masako Wakuri

Copyrights © 2013 Etsuko Tomomatsu, Jun Miyamoto, Masako Wakuri, ALC Press Inc.

All rights reserved.

This edition is published by arrangement with ALC Press Inc., Tokyo
through Tuttle-Mori Agency, Inc., Tokyo.

The Original Japanese edition was published by ALC Press Inc.

著作权合同登记号:06—2013年第235号

版权所有·侵权必究

图书在版编目(CIP)数据

新版日语句型地道表达 500 例 / (日) 友松悦子,
(日) 宫本淳, (日) 和栗雅子著. — 大连 : 大连理工大学出版社, 2014.3

原书名: 改訂版 どんなときどう使う日本語表現文型 500

ISBN 978-7-5611-8912-2

I. ①新… II. ①友… ②宫… ③和… III. ①日语—
句型 IV. ①H364.3

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2014)第 031607 号

出版发行:大连理工大学出版社有限公司

(地址:大连市软件园路 80 号 邮编:116023)

印 刷:辽宁省印刷技术研究所

幅面尺寸:185mm×260mm

印 张:16.25

字 数:375 千字

出版时间:2014 年 3 月第 1 版

印刷时间:2014 年 3 月第 1 次印刷

责任编辑:宋锦绣 张 凡

封面设计:对岸书影

责任校对:孙健淞 杨 波

ISBN 978-7-5611-8912-2

定 价:33.00 元

发 行:0411-84708842

邮 购:0411-84703636

传 真:0411-84701466

E-mail:dutp@dutp.cn

URL:<http://www.dutp.cn>

はじめに……3

本書の目的……8

本書をお使いになる方々へ
……8

- 1 本書の特徴と方針
- 2 各課の構成

記号について……11

本書を使って学習する方々へ
……11

接続の形について……12

1 行為の対象 こうい　たいしょう ~について／～に対して……13

Objects of Action

動作行为的对象

동작의 대상

2 目的・手段・媒介 もくてき　しゅだん　ぱいかい ~ように／～によって……18

Purpose / Means / Media

目的、手段、媒介

목적 / 수단 / 매개

I もくてき 目的 II しゅだん 手段・媒介

3 起点・終点・限界・範囲 きてん　しゅうてん　げんかい　はんい ~をはじめ／～にわたって……24

Starting and Ending Points / Limits / Range

起点, 終点, 界限, 范圍

기점 / 종점 / 한계 / 범위

4 時点・場面 じてん　ばめん ~に際して／～において……32

Time and Place of Action

動作的時間, 場合

시점 / 장면

5 時間的同時性・時間的前後関係 ときどう　じせい　ぜんじかんけい ~たとたん／～うちに……38

Concurrent Actions / Sequential Actions

動作同时发生, 动作先后发生

시간적 동시성 / 시간적 전후관계

I 時間的同時性 II 時間的前後関係

6 進行・相関関係 しんこう　そうかんかんけい 一方だ／～につれて……49

Progressive Actions / Correlations

动作的进行, 动作之间的关系

진행 / 상관관계

I 進行 II 相関関係

7 付帯・非付帯 ふたい　ひ ~ついでに／～ぬきで……56

With / Without

附带, 不附带

부대 / 비부대

8 限定 げんてい　かぎ ~に限り……61

Limiting Conditions

限定

한정

9 非限定・付加 ひ げん てい ふ か ~ばかりでなく／～上に……66

Non-limitation / Additions

非限定, 附加

비한정 / 부가

I 非限定 II 付加

10 比較・程度・対比 ひ かく てい ど たい ひ ~くらいなら／～どころか……75

Comparison / Degree / Contrast

比較, 程度, 対比

비교 / 정도 / 대비

I 比較・程度 II 対比

11 判断の立場・評価の視点 はんだん たち ば ひょう か し てん ~にとって／～にしては……87

Standpoint of Judgment / Viewpoint of Evaluation

判断的立場, 評价的视点

판단의 입장 / 평가의 시점

I 判断の立場 II 評価の視点

12 基準 き じゅん ~に基づいて……96

Basis of Action

基準

기준

13 関連・対応 かんれん たいおう ~に応じて／～をきっかけに……102

Dependency / Correspondence

关联, 对应

관련 / 대응

14 無関係・無視・例外 む かん けい む し れい がい と ~を問わず／～はともかく……109

Unrelated Conditions / Exceptions

无关, 无视, 例外

무관계 / 무시 / 예외

15 例示 れい じ ~とか～とか……116

Giving Examples

举例

예시

• •

16 程度の強調 ていど きょうちょう ~さえ／～こそ……123

Emphatic Expressions
对程度的强调
강조

強調 I 強調 II

17 話題 わだい ~というのは……132

Topics
话题
화제

18 逆接・讓歩 ぎやくせつ じょうほ ~ものの／～とはいうものの……139

Contradiction / Concession
逆接, 让步
역접 / 양보

19 原因・理由 げんいん りゆう ~ばかりに／～からには……149

Causes / Reasons
原因, 理由
원인 / 이유

原因・理由 I 原因・理由 II

20 仮定条件・確定条件 かていじょうけん かくていじょうけん ~としたら／～となると……163

Hypothetical Conditions / Definite Conditions
假定条件, 确定条件
가정조건 / 확정조건

21 逆接仮定条件 ぎやくせつ かていじょうけん ~たところで……172

Adversative Hypothetical Conditions
逆接假定条件
역접의 가정조건

22 不可能・可能・困難・容易 ふかのう かのう こんなん ようい ~ようがない／～得る……178

Impossibility / Possibility / Difficulty / Easiness
不可能, 可能, 困难, 容易
불가능 / 가능 / 곤란 / 용이

23 傾向・状態・様子 けいこう じょうたい ようす ~がち／～だらけ／～げ……184

Tendency / Condition / Appearance
倾向, 状态, 情况
경향 / 상태 / 모습

I 倾向・状態 II 様子

24 経過・結末 ~あげく／～次第だ……192

Process / Conclusion

经过, 结果

경과 / 결말

I 経過 II 結末

25 否定・部分否定 ~はずがない／～わけではない……203

Negatives / Partial Negatives

否定, 部分否定

부정 / 부분부정

I 否定 II 部分否定

26 伝聞・推量 ~ということだ／～かねない……212

Conveying Information / Expressing Certainty and Uncertainty

传闻, 推测

전문 / 추측

I 伝聞 II 推量

27 心情の強調・避けられない心情や行動 ~てたまらない／～ざるをえない……219

Emphasizing Feelings / Compulsion

强调某种感情, 不得不作的事情或那时的感情

감정의 강조 / 피할 수 없는 심정과 행동

28 誘い・勧め・注意・禁止 ~こと／～ものだ／～べきではない……228

Invitations / Advice / Warnings / Prohibitions

邀请, 建议, 提醒, 禁止

권유 / 추천 / 주의 / 금지

29 主張・断定的評価 ~にほかならない／～にきまっている……234

Assertion / Assertive Evaluation

主张, 判断性的评价

주장 / 단정적 평가

30 感嘆・願望 ~ことに／～たいものだ……240

Exclamatory Expressions / Expressing Wishes

感叹, 愿望

감탄 / 희망

索引(50音順) ……248

練習問題の解答……256

参考文献……259

新版

どんなときどう使う
日本語表現文型500

日语句型 地道表达 500例

友松悦子 宫本淳 和栗雅子 著

中·上级



大连理工大学出版社
DALIAN UNIVERSITY OF TECHNOLOGY PRESS

「改訂版 どんなときどう使う日本語表現文型 500」
友松 悅子、宮本 淳、和栗 雅子 著

“KAITEIBAN DONNA TOKI DOTSUKAU NIHONGO HYOGEN BUNKEI 500”
by Etsuko Tomomatsu, Jun Miyamoto, Masako Wakuri

Copyrights © 2013 Etsuko Tomomatsu, Jun Miyamoto, Masako Wakuri, ALC Press Inc.
All rights reserved.

This edition is published by arrangement with ALC Press Inc., Tokyo
through Tuttle-Mori Agency, Inc., Tokyo.

The Original Japanese edition was published by ALC Press Inc.

著作权合同登记号:06-2013年第235号

版权所有·侵权必究

图书在版编目(CIP)数据

新版日语句型地道表达 500 例 / (日) 友松悦子,
(日) 宫本淳, (日) 和栗雅子著. — 大连 : 大连理工大学出版社, 2014. 3

原书名: 改訂版 どんなときどう使う日本語表現文型 500
ISBN 978-7-5611-8912-2

I. ①新… II. ①友… ②宫… ③和… III. ①日语—
句型 IV. ①H364. 3

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2014)第 031607 号

出版发行:大连理工大学出版社有限公司
(地址:大连市软件园路 80 号 邮编:116023)

印 刷:辽宁省印刷技术研究所

幅面尺寸:185mm×260mm

印 张:16.25

字 数:375 千字

出版时间:2014 年 3 月第 1 版

印刷时间:2014 年 3 月第 1 次印刷

责任编辑:宋锦绣 张 凡

封面设计:对岸书影

责任校对:孙健淞 杨 波

ISBN 978-7-5611-8912-2

定 价:33.00 元

发 行:0411-84708842

邮 购:0411-84703636

传 真:0411-84701466

E-mail:dutp@dutp.cn

URL:<http://www.dutp.cn>

はじめに

初級を終えて中級に入った学習者は、論理的な文章を読んだり、書いたり、微妙な気持ちや感動を表現したりする時に使われる、より高度な日本語を習得したいと願います。そのような学習者から次のような声が聞かれます。本や新聞などを読んでいると新しい言葉が出てくるが、文法的な言葉は辞書で引こうとしても、辞書には出ていない、いい参考書はあるが、言葉の数が少ない、などです。また、大学や専門学校のための日本語予備教育課程で学びつつ、日本語能力試験の準備をしている学習者からも、問題集や直前対策などの教材だけではなく、中・上級で学ぶ文型の全体を見通しつつ、計画的に落ち着いて学習できる教材が欲しい……という希望が聞かれます。

このような中・上級の学習者の要望に応えたく、わたしどもは、1996年9月に、この『どんな時どう使う日本語表現文型500』をまとめました。これは、私どもが現場で得た経験を生かし、学習者のお役に立つよう、長年使用してきた自主教材を基にまとめたものです。

さて、このたび『どんな時どう使う日本語表現文型500』の改訂版を発行する運びとなりました。改定に当たって幾つかの点に留意しました。まず、2010年よりの日本語能力試験の改定に当たって示されたN5～N1のレベル分けについて、私どもは現場での経験や関連の書物から学んだことを基に、独自に⑤～①を設定いたしました。本書では、このうち③～①を扱っています。例文は各レベルに合わせて大幅に手を加えました。各課の後に続く練習問題は、各レベルの学習者が学習しやすいようにレベル別に設定し、マークで表示しました。練習問題は学習しやすいように、より基本的なものからより高度なものへと並んでいます。

この教材の初版発行の際には、国立国語研究所（当時）の佐々木倫子先生に非常に有益なご助言とお励ましをいただきました。心より感謝申し上げます。

この改訂版作成に当たり、株式会社アルク日本語・マルチリンガル事業部の新城宏治氏、日本語書籍編集部の立石恵美子さんには、一方ならぬお世話になりました。深く感謝いたします。

この学習書が、日本語を学ぼうとしている方々のお役に立つことを心から願っております。

2010年6月

友松悦子

宮本淳

和栗雅子

はじめに……3	1 行為の対象 ～について／～に対して……13
本書の目的……8	Objects of Action 动作行为的对象 동작의 대상
本書をお使いになる方々へ8	
1 本書の特徴と方針	
2 各課の構成	
記号について……11	2 目的・手段・媒介 ～ように／～によって……18
本書を使って学習する方々へ11	Purpose ／ Means ／ Media 目的、手段、媒介 목적 / 수단 / 매개
接続の形について……12	I もくてき 目的 II しゅだん 手段・媒介
3 起点・終点・限界・範囲 ～をはじめ／～にわたって24	Starting and Ending Points ／ Limits ／ Range 起点, 終点, 界限, 范围 기점 / 종점 / 한계 / 범위
4 時点・場面 ～に際して／～において……32	Time and Place of Action 動作的時間, 場合 시점 / 장면
5 時間的同時性・時間的前後関係 ～たとたん／～うちに38	Concurrent Actions ／ Sequential Actions 動作同时发生, 动作先后发生 시간적 동시성 / 시간적 전후관계
	I 時間的同時性 II 時間的前後関係
6 進行・相関関係 ～一方だ／～につれて……49	Progressive Actions ／ Correlations 动作的进行, 动作之间的关系 진행 / 상관관계
	I 進行 II 相関関係
7 付帯・非付帯 ～ついでに／～ぬきで……56	With ／ Without 附带, 不附带 부대 / 비부대
8 限定 ～に限り……61	Limiting Conditions 限定 한정

9 非限定・付加 ひ げん てい ふ か ~ばかりでなく／～上に……66

Non-limitation / Additions

非限定, 附加

비한정 / 부가

I 非限定 II 付加

10 比較・程度・対比 ひ かく てい ど たい ひ ~くらいなら／～どころか……75

Comparison / Degree / Contrast

比較, 程度, 対比

비교 / 정도 / 대비

I 比較・程度 II 対比

11 判断の立場・評価の視点 はんだん たち ば ひょう か し てん ~にとって／～にしては……87

Standpoint of Judgment / Viewpoint of Evaluation

判断的立場, 評价的视点

판단의 입장 / 평가의 시점

I 判断の立場 II 評価の視点

12 基準 き じゅん ~に基づいて……96

Basis of Action

基準

기준

13 関連・対応 かんれん たいおう ~に応じて／～をきっかけに……102

Dependency / Correspondence

关联, 对应

관련 / 대응

14 無関係・無視・例外 む かん けい む し れい がい と ~を問わず／～はともかく……109

Unrelated Conditions / Exceptions

无关, 无视, 例外

무관계 / 무시 / 예외

15 例示 れい じ ~とか～とか……116

Giving Examples

举例

예시

• •

16 程度の強調 ていど きょうちょう ~さえ／～こそ……123

Emphatic Expressions
对程度的强调
강조

強調 I 強調 II

17 話題 わだい ~というのは……132

Topics
话题
화제

18 逆接・讓歩 ぎやくせつ じょうほ ~ものの／～とはいうものの……139

Contradiction / Concession
逆接, 让步
역접 / 양보

19 原因・理由 げんいん りゆう ~ばかりに／～からには……149

Causes / Reasons
原因, 理由
원인 / 이유

原因・理由 I 原因・理由 II

20 仮定条件・確定条件 かていじょうけん かくていじょうけん ~としたら／～となると……163

Hypothetical Conditions / Definite Conditions
假定条件, 确定条件
가정조건 / 확정조건

21 逆接仮定条件 ぎやくせつ かていじょうけん ~たところで……172

Adversative Hypothetical Conditions
逆接假定条件
역접의 가정조건

22 不可能・可能・困難・容易 ふかのう かのう こんなん ようい ~ようがない／～得る……178

Impossibility / Possibility / Difficulty / Easiness
不可能, 可能, 困难, 容易
불가능 / 가능 / 곤란 / 용이

23 傾向・状態・様子 けいこう じょうたい ようす ~がち／～だらけ／～げ……184

Tendency / Condition / Appearance
倾向, 状态, 情况
경향 / 상태 / 모습

I 倾向・状態 II 様子

24 経過・結末 ~あげく／～次第だ……192

Process / Conclusion

经过, 结果

경과 / 결말

I 経過 II 結末

25 否定・部分否定 ~はずがない／～わけではない……203

Negatives / Partial Negatives

否定, 部分否定

부정 / 부분부정

I 否定 II 部分否定

26 伝聞・推量 ~ということだ／～かねない……212

Conveying Information / Expressing Certainty and Uncertainty

传闻, 推测

전문 / 추측

I 伝聞 II 推量

27 心情の強調・避けられない心情や行動 ~てたまらない／～ざるをえない……219

Emphasizing Feelings / Compulsion

强调某种感情, 不得不作的事情或那时的感情

감정의 강조 / 피할 수 없는 심정과 행동

28 誘い・勧め・注意・禁止 ~こと／～ものだ／～べきではない……228

Invitations / Advice / Warnings / Prohibitions

邀请, 建议, 提醒, 禁止

권유 / 추천 / 주의 / 금지

29 主張・断定的評価 ~にほかならない／～にきまっている……234

Assertion / Assertive Evaluation

主张, 判断性的评价

주장 / 단정적 평가

30 感嘆・願望 ~ことに／～たいものだ……240

Exclamatory Expressions / Expressing Wishes

感叹, 愿望

감탄 / 희망

索引(50音順) ……248

練習問題の解答……256

参考文献……259

本書の目的

初級の学習項目を終えた学習者は、論理的な文章を読んだり書いたり、微妙な気持ちや感動をうまく表現したりするときに使われる、より高度な日本語の言い方を学習したいと願う。

この学習書は、そうした中・上級の文法形式を体系的に学びたいと思っている学習者のために作られたものである。それぞれに微妙な特徴を持つ文法形式を学び、運用する力を付けたいと思ってこつこつと勉強している方々にはお役に立つものと信じている。

この学習書が使われる場面としては、例えば、教科書に沿って中級以上の語彙や文法を積み上げつつ勉強する日本語学校で、中級の学習がある程度進んでから中級文法のまとめのための副教材として使うということが考えられる。また、日本語能力試験を目指して勉強している学生の大勢いる日本語学校で、その対策のための授業で使用するのも一案である。学習者が自習用、独習用の教材として使用することもできるであろう。

本書をお使いになる方々へ

1 本書の特徴と方針

[意味による分類]

本書は、1994年に国際交流基金・日本国際教育協会（当時）から発表された（2002年改訂）日本語能力試験（文法）の出題基準サンプル（文法的な〈機能語〉の類）を参考にし、そのほかに、数種類の教科書（参考文献参照）の中で重要学習項目として取り上げられているもの、これまで能力試験に出題されたものなどを整理して編集された。執筆者らは、2010年から改訂される日本語能力試験のレベル（N5～N1）を考慮し、これらの項目を独自の判断でレベル分けして本書に掲載した。

学習者が文法形式をまとめて勉強しようとするとき、さまざまなものが脈絡なく次々と出てくるよりは、何かのまとまりをもって体系的に提出されている方が学習の助けになると見え、文法形式を意味によって分類して1つの課を構成した。各課の題はその課の項目の代表的な意味機能を考えて付けたが、その用語（例：7付帯・非付帯など）については、ご批判を仰ぎたい。

1つの文法形式の意味・機能は1つではない。例えば、「～ながら」は、初級の学習項目である「同時進行」と、中級の学習項目である「逆接」の2つの意味・機能を持つ。しかし、この2つの意味は孤立して存在しているのではなく、連続的にその意味をカバーしている。

また、「～にきまっている」は、確信に近い推量を表す文法形式であるとともに、断定的発言を表すものとも考えられる。「～はずがない」は「推量」と分類した方がいいのか、「否定」と分類した方がいいのか、どこで線を引いて分類するのかは極めて難しい問題である。しかし、執筆者らの立場としては、学習者が学習する際に取っ付きやすく、わかりやすいようにということを第一に考え、あえて分類を試みた。そのため学習者の混乱を招かないように配慮し、それぞれの典型的な例を出して分類するという方法を取った。1つの文法形式が複数の意味・機能を持つ場合は、それぞれのグループに収めた。例えば、「～によって」は、次の3つの課に収めた。

・話し合いによって解決する。	手段	2課II・1
・その日の気分によって服を変える。	関連	13課1
・津波によって大きな被害が出た	原因	19課I・1

[文法的性質についての記述]

文法形式を学習する上で必要なことは、まず、意味と機能を理解することである。さらに、自分で使えるようになるためには、それを使う場面・接続のしかた・使われる動詞の種類などについての知識を持ち、接続する言葉の制限や文末の制限などについての文法的な性質についても知る必要がある。執筆者らは、それぞれの現場の経験から、学習者のわかりにくいや間違いや間違いや易いところを押さえて、できるだけ簡単明瞭に文法的性質を解説しようと試みた。

[例文]

各文法形式について3～5つの例文を載せた。まず、典型的な例文を紹介し、ほかに、接続する品詞・時制・使われる場面・話題などが偏らないように、可能なかぎりさまざまなものを提示できるように試みた。各例文は基本的に普通体の書き言葉のものを主としたが、当然ながら書き言葉には丁寧体のものもあるので、手紙・テレビなどのニュース報道・スピーチ・会議の報告などに使われるものも丁寧体の書き言葉として取り入れてある。

[「知っていますか」 「使えますか」 (各課の1ページ目) と「練習問題」(各課の最後)]

各課に入る前にその課で学ぶべきことをどの程度知っているかを試してみる  「知っていますか」と  「使えますか」を設けた。その課にまとめられた意味・機能を持つ文法形式をどのくらい知っているか、知っているだけでなく適切に使えるかを試す性質のものである。問題は③、②程度のものだけに限定して作ってある。 「知っていますか」はそれらの文法形式を知っているかどうかのチェックであり、 「使えますか」は適切な使い方ができるかどうかのチェックである。さらに、その課で学習したことの確認のために、本文の終わりに練習問題を付けた。その課で学んだ文法形式が適當などころで使えるか・その文法形式を使って短文完成ができるか・文法的な性質についての知識が身に付いたか・あるまとまりのある文章(談話)の中でその文法形式が使えるか、などを確認するためのものである。

[その他]

文法の力を養うための学習書であるから、説明の文の語彙はなるべく学習者の負担にならないようにした。漢字の提出については、漢字圏の学習者が本書の内容を容易に理解できるようにするために、また、非漢字圏の学習者にはなるべく漢字に慣れる機会を提供する意味もあり、レベルに合わせて読み仮名を付けた。

2 各課の構成

- ・  その課にまとめられた文法形式について、どの程度の基礎知識があるかを問うもの。(答えは次のページの下)
- ・ 文法形式一覧 その課で学習する文法形式一覧。レベル別に分けて提示。レベルごとに学習しやすいと思われる順に提示した。
- ・ 本文 見出し語
 - その言い換え……………【 】
 - 使われる場面について…… 
 - 例文……………① ② ③～
 - 接続……………◎
 - 文法的な性質と意味的特徴…………▶
- ・ 練習 その課で学習したことをチェックするためのもの。レベル順に段階的に並べてある。問題の種類はいろいろで、談話単位の中でどう使われるかという点を確認する問題も取り入れた。(答えは巻末)

記号について

各記号は次のような意味を表す。

- ③ ② ① それぞれのレベルの文型
- 主として話し言葉
- 主として書き言葉
- 主として改まった言い方
- 接続
- 同じ形だが違う意味のもので、ほかの課に入っている。

本書を使って学習する方々へ

本書は1課から30課まであります。後半の課になると、話す人の気持ちや態度が含まれる文法形式が多くなってきます。1課から順番に進んでいくのもいいし、順番どおりでなくてもいいと思います。

「知っていますか」「使えますか」

どの場合でも、まず と をやってみましょう。これは、その課で学ぶことの基礎的な知識がどの程度まで進んでいるか自分でチェックするものです。 は「～と言いたいとき」のいろいろな文法形式をどのくらい知っているかを問うものです。いちばんいい言葉を選んで_____の上に入れてください。1つの言葉は1回しか使いません。次に に進んでください。これは適切な使い方ができるかどうかを問うものです。使い方が適切な文のほうに○をつけてください。

中級以上の文法形式は、接続する言葉や文の終わり方などにさまざまな制限があります。接続のし方も文法形式によっていろいろです。そうした制限を守らないと適切な使い方ができません。ここの中級以上を間違えた人は、本文の▶を注意して読んでください。どの課も10問あります。10問中、4問以上間違いのある人はその課を特にいねいに学習しましょう。

「本文」

まずその課で学習する文法形式にはどんなものがあるかを見てみましょう。項目は学習しやすい順に並んでいますから、順を追ってその課の本文を読み進めていくことをおすすめします。

まず、【 】を読んでください。やさしい言葉で言い換えた場合の「意味」が書いてあります。次に例文を読んでください。例文を読むときは、どんな性質の言葉、どんな品詞に接続しているか、文の終わり方はどうなっているかなどにも注意しながら読んでください。

▶にはその文法形式の意味的特徴や文法的な性質が書いてあります。その文型を使って自分で文を作るときの注意点です。

次に練習問題に進んでください。これはその課で学習したこと理解できたかどうかをチェックするためのものです。あるまとまりをもった少し長い文章の中で、習った文法形式をどう使うかを練習する問題もあります。手紙、作文、論文などを書くときの参考にしてください。